

# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2016v1.0

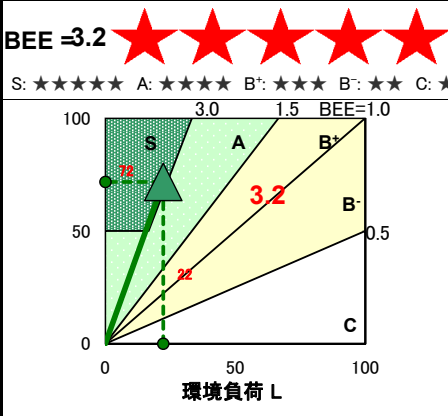
## 1-1 建物概要

建物名称	月寒西モデル	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2017年4月	竣工		
建設地	北海道札幌市豊平区月寒西1条1丁目451-38			
用途地域	第一種中高層住居地域・33m高度地区	確定		
省エネルギー地域区分	2地域			
構造・構法	木造在来工法	確定		
階数	地上2階			
敷地面積	114 m <sup>2</sup>	確定	評価の実施日	2018年3月13日
建築面積	63 m <sup>2</sup>	確定	作成者	三ノ宮 浩
延床面積	120 m <sup>2</sup>	確定	確認日	
世帯人数	4	仮	確認者	

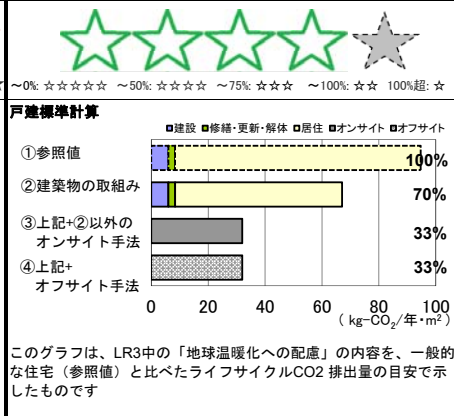
## 1-2 外観



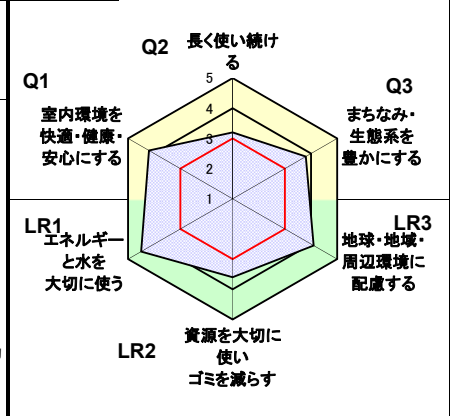
## 2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



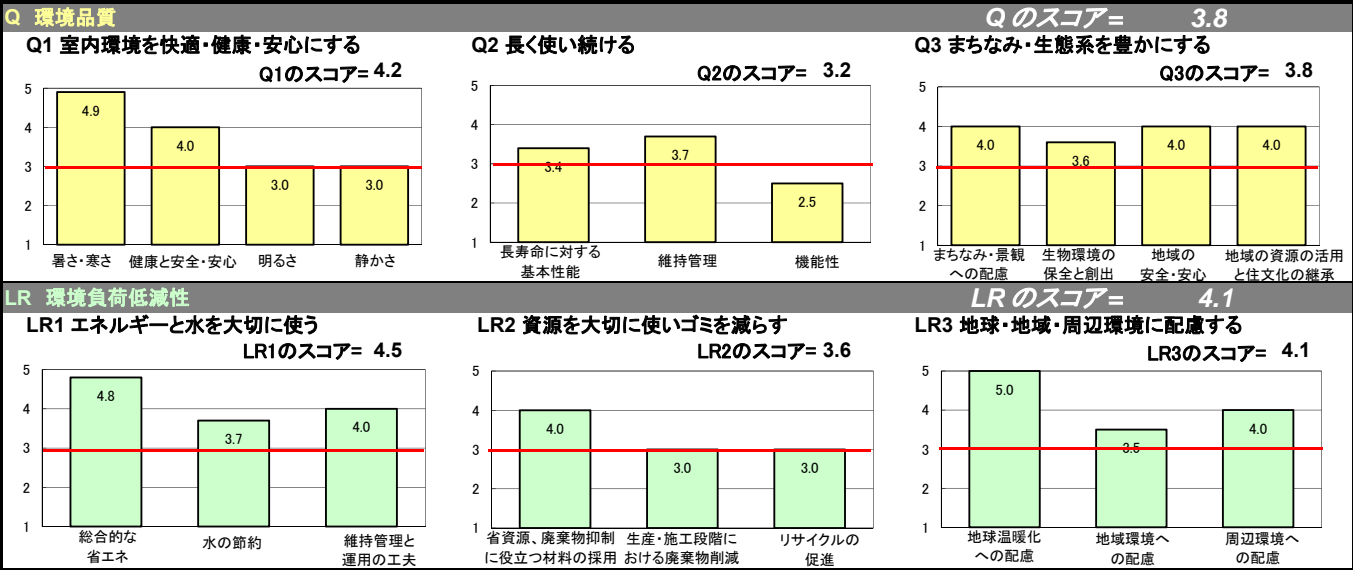
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>札幌駅から南東へ約7.3kmに位置する住宅地。前面道路に対し、空地を設けて周辺環境と調和するように建物を配置。外観は、道南杉板を用いて経年とともに落ち着いた街並みを形成するデザインとした。建物は、ダブル付加断熱の高断熱仕様で全館暖冷房と全熱交換型1種換気扇を用いて空間の温度差が少なく快適に過ごせるようにした。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>●建設地は、既存住宅を解体したのち、新築。基壇は変えていない。</p>
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>●省エネ基準を大幅にクリアするUA=0.19W/m<sup>2</sup>K。サッシは樹脂製で4層Low-Eガラスを採用。●全館冷暖房に全熱交換型1種換気扇を採用。●VOC等に配慮したF☆☆☆☆建材または無垢材を使用。●足がかりを作らない、大型開口を設けない等の防犯性配慮</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>●地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討●耐震等級3●基礎断熱、外壁通気構造、連続した断熱区画、防湿シートの設置による躯体の高耐久化</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>●高断熱で暖冷房エネルギーの消費を抑え、自然冷媒(CO<sub>2</sub>)ヒートポンプ給湯器を採用●太陽光パネルは、屋根面に加え、壁面にも設置</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>●リサイクル材を積極的に採用していないが、内外装材共に省資源・廃棄物抑制につながる材料・工法を用いている</p>
	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>●既存住宅を解体し、新たに新築する際、地面を覆ったコンクリートの一部を剥ぎ、植栽スペースとして緑地を確保した。●緑地には、シンボルツリーとして4本のコニファーを並べて植栽した</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>H2</sub>、LR<sub>H1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照された